

議会報告
2024年秋
第160号

日立市議会だより

日立市議会議員 助川 悟



写真と画像で見る注目の
日立市のNEWS



9月7日から15日にかけて開催された
「日立市美術展覧会」



庁舎棟

北部消防署庁舎の完成イメージ
(令和8年4月供用開始予定)



9月21日に開催された
「市民生活安全フェスティバル」

9月議会 本庁舎本格復旧のための補正予算を計上

令和6年第3回定例議会は9月5日から9月30日まで26日間の日程で開催しました。上程された議案は、令和6年度一般会計補正予算、条例改正、契約関係、人事案件など29件です。委員会で慎重審議の結果、いずれも原案を可決しました。主な議案並びに請願の概要は下記のとおりです。

■予算の特徴

今回の一般会計補正予算は、災害復旧関連事業、地域医療体制確保事業、生活環境対策事業などで、総額約10億7,000万円余を計上しました。主な事業は次のとおりです。

- ★本庁舎災害復旧事業費 …………… 3億7,145万円
令和5年台風13号の影響により被害を受けた本庁舎の電源設備について、復旧工事をおこなう
- ★本庁舎安全対策事業費 …………… 3,797万円
本庁舎の浸水対策工事に係る実施設計をおこなう
- ★治水対策事業費 …………… 3,541万円
数沢川等の治水対策工事に係る詳細設計をおこなう
- ★地域医療体制確保事業費 …………… 700万円
診療所の新規開業等の件数増加に伴い、診療所開業等奨励金を増額する
- ★生活環境対策事業費 …………… 300万円
飼い主のいない猫の増加防止対策として、地域猫活動を支援する

- ★久慈サンピア日立等運営経費 …………… 214万円
貸出用自転車（Eバイク）の倉庫設置に当たり、設置場所をサンピア日立スポーツセンター敷地内からサンピア日立敷地内に変更することに伴う工事費の増額
- ★教育相談事業費 …………… 68万円
不登校生徒への支援策について、モデル校（大久保中学校）において実践的な調査研究をおこなう

■主な条例改正

- ★日立市空家等対策協議会条例の一部を改正する条例の制定
日立市空家等対策協議会の所掌事項に、「管理不全空家等の認定および措置」を加える

■請願・陳情

- ★教職員定数改善と義務教育費国庫負担堅持のための意見書採択を求める請願【採択】
- ★医薬品や医療機器の安定供給確保並びにイノベーション推進に係る意見書採択を求める請願【採択】



ご意見・ご要望
お寄せください



市政へのご意見・ご要望、その他お困り事がございましたら、「助川悟」後援会までご連絡ください。

- 社内便の場合⇒ (日) 労組
- お電話の場合⇒ 0294 (26) 0183
- お手紙の場合⇒ 〒317-0073 日立市幸町2-13-6
- メールの場合⇒ satoru.sukegawa.vp@hitachi.com

パワハラ・解雇・雇止め・賃金未払い…
仕事のことで悩んだら相談しよう！
なんでも 無料
労働相談
0120-154-052
連合茨城

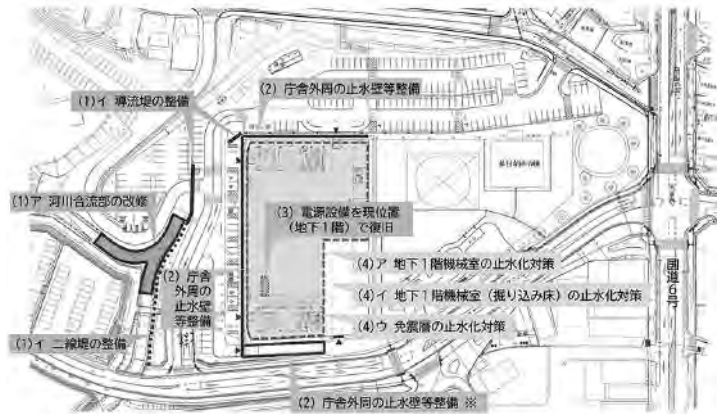
トピックス

本定例議会で審議された、日立市の主な取組をご紹介します。

日立市庁舎安全対策計画 国内最大級の豪雨にも対応できる庁舎へ

市では、いかなる災害時においても、行政機能を継続できるよう、防災拠点機能の強化を目標とした、「庁舎安全対策計画」を策定しました。本計画は、浸水状況・原因の分析および安全対策の妥当性について、各技術分野の第一線で活躍する有識者による、最高水準の知見で安全性の検討をおこない、その結果を踏まえた計画としています。

- 【計画期間】** 令和9年3月までの、おおむね3ヵ年
【安全対策】 ※番号に対応する具体的な対策は右図の通り
- (1) 河川の溢水対策
 - (2) 庁舎外周の止水壁等整備
 - (3) 電源設備の復旧位置
 - (4) 庁舎地下階の止水化対策
 - (5) 庁舎業務継続計画・職員等の行動計画を定める



庁舎安全対策の全体計画（敷地平面図）

地域猫活動を支援



個人への支援も決定

市では、飼い主のいない猫の増加防止対策として地域猫活動を支援するため、県の「地域猫活動推進事業」を補完する新たな助成制度を開始します。

【地域猫活動補助】

- (1) 個人向け
対象者：日立市民
対象経費：猫の不妊去勢手術費
補助額：雄 7千円、雌 10千円
- (2) 団体向け
対象者：2世帯以上の地域住民等で組織された団体
対象経費：捕獲費、不妊去勢手術費、病院等搬送費、飼育費等
補助額：150千円/団体

大甕駅および日立おさかなセンター周辺での自動運転の取組み

バス、タクシーにて
実証実験を実施



車両イメージ

国の「デジタルライフライン全国総合整備計画※」において、日立市が先行地域に指定されたことから、自動運転の取組みを実施します。

※人口減少が進む中でもデジタルによる恩恵を全国津々浦々に行き渡らせるため、国が策定した計画

【予定期間】 令和7年3月まで

【自動運転バス】

- ・道路脇に設置したセンサー等から、情報提供をおこなう路車協調システムの実証実験による、技術検証
- ・ルートは、大甕駅周辺（大甕駅～古房地公園～大みか事業所）、日立おさかなセンター周辺（南部図書館～日立おさかなセンター）

【自動運転タクシー】

- ・スマホのアプリを使用した自動運転タクシー配車の実証実験による、有用性の検証
- ・ルートは、大甕駅周辺（大甕駅～古房地公園～大みか事業所）

新たなごみ等収集システム

処理体制見直しのため、実証実験を実施

日立市では、効率的かつ効果的なごみ処理体制構築の見直しのために実証実験をおこないます。

【実証実験の概要】

目的：再生資源集積所利用の公平性の確保、住民負担などの課題解消、使用済みプラスチックの資源化に向けた分別回収、分別回収の実験による排出量の把握等

実施学区：油縄子・金沢・大みかの一部

実証実験の内容

- ①「再生資源収集」

用具出し当番休止、収集日前日に用具類が入ったボックスを配置（収集日にボックスから袋を取り出して、状況確認）

②「プラスチック類の分別回収」

袋は市が用意し対象世帯へ事前に配布（排出量及び排出状態などの把握、燃えるごみの排出量との比較）

実施期間：令和6年10月～12月